

# Great POWER BMW

世界のBMWチューナーの中で最もアクティブでアグレッシブなのがドイツのG-POWERだ。独自のスーパーチャージャーやエンジンチューニングプログラムを精力的に開発して、速度記録などにもチャレンジしている。今やその実力は圧倒的なまでに達している。こうしたG-POWERの実力を見せつける2モデルをこの日本で徹底分析した。



## ■ SPECIFICATION

### G-POWER TYPHOON based on BMW X5M

**WHEEL** → G-POWER → Sherstone Diamond Edition Forged F.23X11.0 R.23X12.0  
**TIRE** → MICHELIN → LATITUDE Sport F.315/25R23 R.315/25R23  
**SUSPENSION** → H&R → Sport Spring  
**ENGINE** → BOXX TUNING → ECU Upgrade  
**MUFFLER** → G-POWER → Stainless Rear Muffler 120mmX2 Center Pipes  
**EXTERIOR** → G-POWER → Wide Body Kit/F Bumper/Carbon F Lip Cover/LED Daylight/F Fender/S Skirt/R Fender/R Skirt/R D Pillar/Carbon Rear Diffuser Cover/Carbon Trunk Spoiler  
**INTERIOR** → Alcantara Re-upholstered Roof Liner/A pillar/B Pillar/C Pillar



04 G-POWERのスカッフプレート、05 首都圏のトンネルコーナーを最高速で安定して走り抜ける。4WDと315サイズのタイヤのグリップはこれも格別だ。06 フラッグエンジンダー下にマウントされるのは、シルバーストーンフォージド23インチ、315/25R23というサイズの径スタイヤ。日本国内ではほとんど手に入らない特殊サイズ。このハイリクーンには10リットルを積んでいる。07 ボンネットはドライカーボンでできていて、軽量化には大きく貢献している。08 マフラーはセンター2本出し。近づくだけで見ると和音感。このSUVの特徴をうかがわせる。

## 見せても走らせても無敵

CALL>>>bond shop Urawa (ボンドショップ浦和) [048]851-4411 www.bondteam.co.jp  
 LAGER CORPORATION (ラグーコーポレーション) [048]853-2222 www.lager.co.jp  
 PHOTO>>>TOSHIO HODUCHE (のくちとしお)

最近の高性能SUVには、Max500psオーバーをひねり出す強力なエンジンを搭載するモデルが設定されるが、中でもダントツの実力を誇るのが、BMWのX5MとX6M。5L・V8ツインターボからMax555psを弾き出すっていったら困ってしまう。BMWの誇るスポーツ系M3/M5でさえ、信号待ちでX5Mの横に並んだら肩身が狭く感じてしまうほどののだ。

このモンスターSUVに強烈なエアロプログラムを設定してきたのがG-POWERだ。前後のワイドフェンダーにアグレッシブなフロントマスク、センター出しのマフラー……。どこから見ても、強烈すぎるデザインでいっぱいだ。「タイフーン」というニックネームが与えられたこのボディは、インパクト重視のオプティカル系エアロとはまったく違うもの。ここ数年、本国DEのBMWチューナーで最もアクティブなG-POWERでは、X5Mをベースに莽蕩なコンプリートカー「タイフーン」を製作。最高速度や0-100km/h加速などのパフォーマンスアップに力を入れているが、実際にそうした速度トライアルカーに使用されているエアロがこのタイフーンキット。アグレッシブなスタイリングは、超高速の現場から生まれたものなのだ。

このワイドボディの内容は、フロントのフルバンパー(+カーボンフリップカバー)からFフェンダーフレア、サイドスカート、Rフェンダーフレア、Rスカート&ディフューザー(+カーボンカバー)、そしてカーボンボンネットとカーボントラックスポイラーからなる構成点数の多いもの。またこのキットを装着すると、マフラーはセンター出しになってしまうため、120φという巨大な出口2本もステンレスマフラーも同時に組み込む必要がある。でも片側6cm拡張されたこの迫力、それはご覧の通り強烈なものだ。

このフェンダーアーチに包まれるホイールは、シルバーストーンダイアモンドエディションフォージド23x11.0と12.0という極太なもの。でも鍛造の利点で、315/25R23というミシュランを前後にマウントしても、純正20インチとほぼ重量は変わらないというから秀逸だ。

一方、カーボンボンネット下に秘められたV8ツインターボエンジンは、ボンドショップのBOXXチューニングでECUチューニングされているから、Maxパワーとなれば600psオーバーは確実。見せても走らせても猛烈に楽しいSUVとなっている!



## MONSTER SUV



